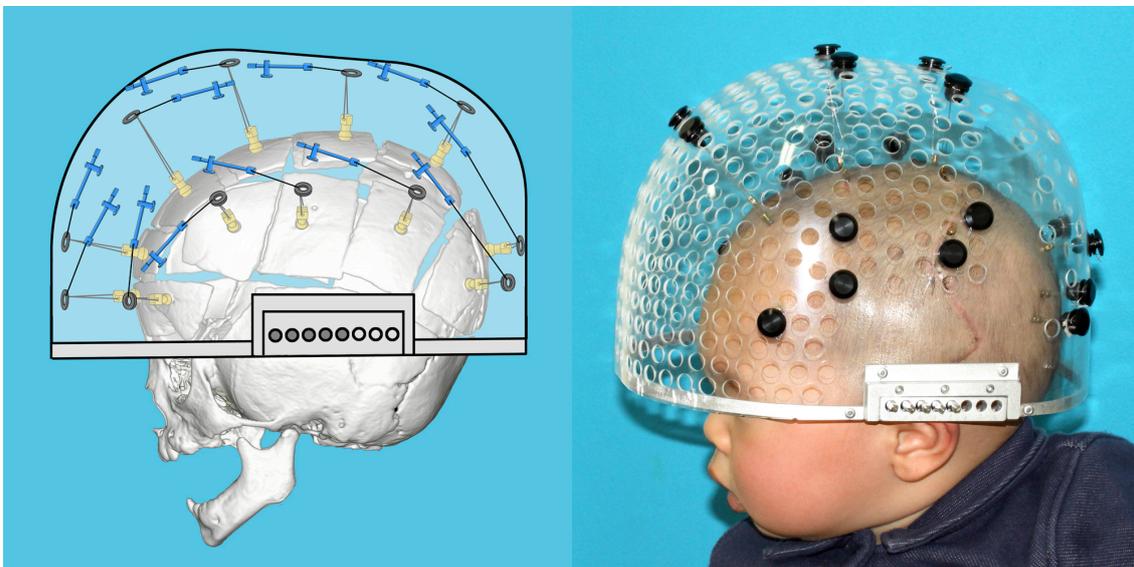


形成外科

頭蓋骨縫合早期癒合症の治療において全国を牽引

頭蓋骨縫合早期癒合症は、頭蓋骨の成長障害により頭蓋内圧の上昇と頭蓋の変形をきたす稀な疾患です。自治医科大学形成外科では、下図に示す多方向性頭蓋骨延長法 (Multidirectional Cranial Distraction Osteogenesis: MCDO 法) を開発しました。この術式は、あらゆる頭蓋形態の先天異常に適応することが可能で、良好な治療成績を得てきました。自治医科大学発の MCDO 法は、最近では他の施設でも少しずつ行われるようになってきました。MCDO 法を全国一施行する施設として、他県からもご紹介・セカンドオピニオン依頼を頂いています。学会・論文でも積極的に発信しており、日本の頭蓋骨縫合早期癒合症に対する治療を牽引している施設の一つです。



問い合わせ先

須永 中

電話: 0285-58-8940

Eメール: atarusuna@jichi.ac.jp